

令和3年
岩手県教育委員会定例会
12月

岩 手 県 教 育 委 員 会

令和3年12月 岩手県教育委員会定例会議事日程

令和3年12月20日（月）午後1時30分

第1 会期決定の件

第2 事務報告1 令和3年12月県議会定例会の概要について (教育企画室)

第3 事務報告2 令和3年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査結果について (学校教育室)

第4 事務報告3 令和4年度県立一関第一高等学校附属中学校入学者選抜に係る出願状況について (学校教育室)

第5 議案第23号 岩手県立博物館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて (生涯学習文化財課)

第6 議案第24号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて (教職員課)

第7 議案第25号 学校職員の一般の退職手当等の全部を支給しないこととする処分に関し議決を求めることについて (教職員課)

閉会

事務報告 1

令和3年12月県議会定例会の概要について

令和3年12月県議会定例会が開催されましたので、概要について別紙のとおり報告します。

令和3年12月20日

令和3年12月県議会定例会の概要について

12月県議会定例会の概要は、次のとおりであった。

1 日 程

11月25日（木）	本会議（招集、議案等の提案、質疑、採決）
12月1日（水）～3日（金）	本会議（一般質問、質疑、委員会付託）
12月6日（月）	休会（常任委員会）
12月8日（水）	本会議（議案の提案、質疑、委員会付託） 休会（常任委員会） 本会議（常任委員会委員長報告、討論、採決）

2 一般質問

(1) 会派別一般質問議員数（9人）

希望いわて	3人
自由民主党	3人
いわて新政会	1人
いわて県民クラブ	1人
日本共産党	1人

(2) 一般質問（教育委員会関係：3人）

次の議員から質問があり、教育長が答弁した。

ア 工藤 大輔 議員 3件

- (ア) 特色ある教育の実現について
- ① 教育のカリキュラムについて
 - ② 高校の魅力化に向けた取組について
 - ③ 次期高校再編計画との関係について

イ 工藤 勝子 議員 5件

- (ア) 学校教育の充実について
- ① 第74回全日本合唱コンクール全国大会結果を受けての所感について
 - ② コロナ禍における学校教育について
 - ③ G I G Aスクール構想について
 - ④ G I G Aスクールサポーターの配置について
 - ⑤ G I G Aスクールへの期待について

ウ 岩城 元 議員 1件

- (ア) 地域資源を活用した県北地域の振興について

3 文教委員会【12月6日（月）】

(1) 議案の審議

ア 議案第7号「令和3年度岩手県一般会計補正予算（第9号）第1条第2項第1表歳入歳出予算補正中歳出第10款教育費及び第3条第3表債務負担行為補正中追加中2」について、教育企画室長兼教育企画推進監から提案理由の説明を行った。

(ア) 質問等

小西和子委員、岩淵誠委員、斉藤信委員、小野共委員及び小林正信委員から教育活動継続環境整備事業の内容、スクールサポートスタッフの任用及び特別支援学校におけるスクールバスの通学利用の状況等について質問があり、教育長及び関係室課長等が答弁した。

(イ) 採決

原案どおり可決された。

イ 議案第14号「財産の取得に関し議決を求めることについて」、教育企画室長兼教育企画推進監から提案理由の説明を行った。

(ア) 質問等

小西和子委員、斉藤信委員及び小林正信委員から入札状況及びICT支援員の配置状況等について質問があり、関係室課長等が答弁した。

(イ) 採決

原案どおり可決された。

(2) その他（この際発言）

ア 「いわての高校魅力化グランドデザイン for 2031について」、高校教育課長から報告を行った。

(ア) 質問等

小西和子委員、佐々木宣和委員、斉藤信委員、千葉伝委員及び岩淵誠委員からスクールポリシー策定の目的、県の政策との整合性及び普通科改革等について質問があり、教育長及び関係室課長等が答弁した。

イ 上記アの他、小西和子委員、斉藤信委員、千葉伝委員及び小林正信委員から学習定着度状況調査、働き方改革プラン、教員免許更新制の廃止に伴う研修の在り方、再発防止「岩手モデル」策定委員会での検討状況及びSNSを活用したいじめ等の相談体制等について質問があり、教育長及び関係室課長等が答弁した。

※ 各議員毎の件数は項目数であり、同一項目の関連質問は含んでいないため、件数と答弁実績数は一致していないこと。

事務報告 2

令和3年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査結果の概要について

令和3年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査を実施しましたので、結果の概要について、別紙のとおり報告します。

令和3年12月20日

令和3年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査結果の概要について

今年度の成果○と課題△

【教科調査】R3年度より作題の方針を変更し、問題数を20問とした。

- 中2国語の平均正答率の上昇。(R1との比較)
- △ 小5国語、中2数学の記述問題における「無解答率」について、R1年度との比較から、今年度も課題が見られる。(表1・2)
- △ 正答数5問以下の児童の割合が増加傾向にある。特に数学の割合が高い。
 小5 国語 11.3% (R1 3.0%)、算数 13.3% (R1 7.7%) 国語、算数ともに増加。
 中2 国語 3.3% (R1 3.1%)、数学 34.9% (R1 16.9%) 数学で増加。

【学校質問紙調査】

- 注視する5項目のうち「質問8(間違いを認める雰囲気作り)」については、小・中学校ともに積極肯定の割合が高い。
- △ 注視する5項目のうち「質問12(書く指導)・16(発展的な家庭学習)・27(つまづき対応した授業)」については、小・中学校ともに積極肯定の割合が低い。
- △ 県学調の問題を活用した組織的な取組「質問21(全教員で問題を解く)」についての積極肯定は、年々低下している。

【児童生徒質問紙調査】

- 第1期アクションプランに掲げる指標について2つの項目で昨年度の実績値を上回った。
- △ わかる授業の割合が低下。家庭学習は2時間以上の割合が低下。

I 調査結果の概要

1 調査の目的

各小・中・義務教育学校において児童生徒一人ひとりの学習の定着状況を把握し、その分析結果を生かした授業改善をより一層推進し、一人ひとりを伸ばす指導の充実を図る。

また、学習の定着状況を把握するとともに、明らかになった学習指導上の問題点を、各種研修会や学校訪問指導等の様々な教育施策に反映させることにより、本県すべての教員の指導力向上に資する。

2 調査の内容

調査種類	実施日	調査対象	対象数・校
教科調査 児童生徒質問紙調査	令和3年10月6日(水)	公立小学校第5学年・義務教育学校第5学年	9,531人
		公立中学校第2学年・義務教育学校第8学年	9,883人
学校質問紙調査	令和3年9月29日(水) ～10月6日(水)	公立小学校及び義務教育学校	296校
		公立中学校及び義務教育学校	150校

3 教科等の実施状況

実施学年(実施校数)	国語	算数・数学	児童生徒質問紙	学校質問紙
小学校第5学年(291校)	9,152人	9,150人	9,157人	296校
中学校第2学年(150校)	9,225人	9,183人	9,193人	150校

4 前回との変更点

- ・教科調査の作題の方針を変更し問題数を20問に。
- ・学校質問紙調査を原則オンライン回答(Microsoft Formsの活用)
- ・児童生徒質問紙調査項目の一部を変更。

II 調査結果

1 教科調査

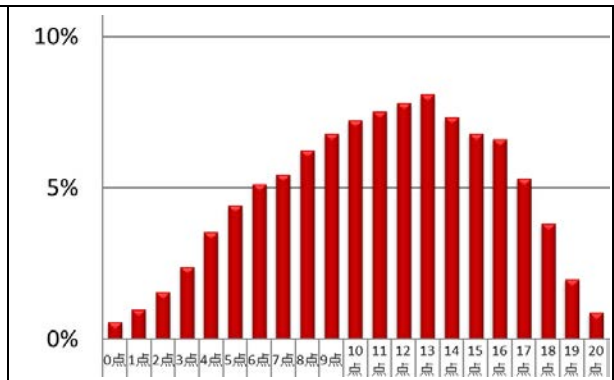
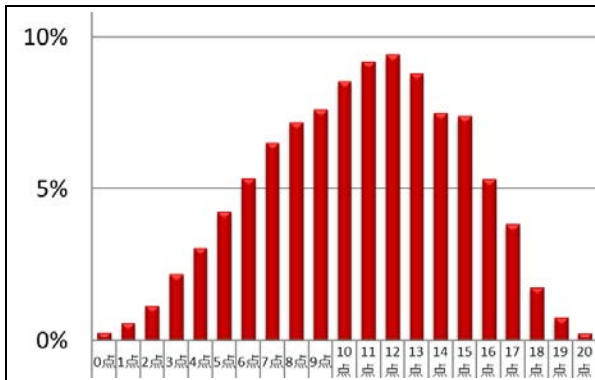
(1) 各教科の平均正答率及び中央値

小学校 5年			中学校 2年		
教科	平均正答率 ()内 R1	中央値	教科	平均正答率()内 R1	中央値
国語	53.4% (60.7)	55.0%	国語	62.5% (60.6)	65.0%
算数	55.1% (56.0)	55.0%	数学	40.2% (42.9)	35.0%

(2) 各教科の正答数分布状況 (各教科問題数 20 問)

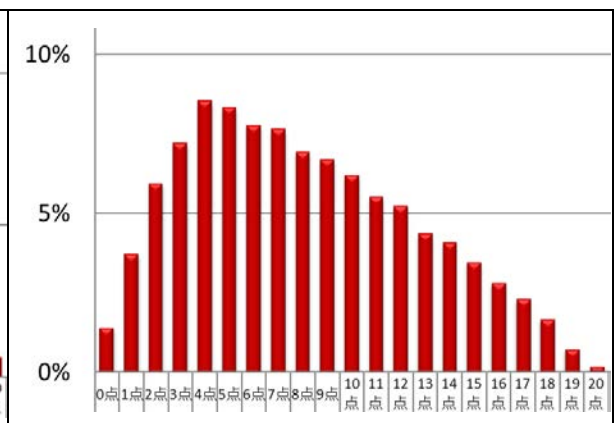
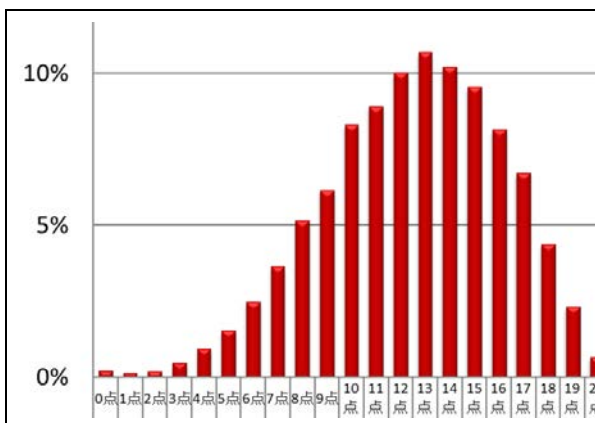
小5【国語】平均正答数 10.7 問 (中央値 11 問)

小5【算数】平均正答数 11.0 問 (中央値 11 問)



中2【国語】平均正答数 12.5 問 (中央値 13 問)

中2【数学】平均正答数 8.0 問 (中央値 7 問)



※各教科の分析については、報告書の中に記載する。

(3) 結果分析から見える今年度の主な特徴

教科調査結果の特徴として、次の3点を捉えた。

【小学校】

- ア 正答数5問以下の児童の割合が国語 11.3% (R1 3.0%)、算数 13.3% (R1 7.7%)と増加した。要因として、活用問題の増加、R1 年度正答率が高かった漢字の読み書きや計算問題を削減した影響と考えられる。(R1 国語 25 問→20 問、算数 26 問→20 問)
- イ 経年比較問題のうち、以下に示す問題について、改善傾向が見られる。
 - ・国語「⑮段落相互の関係に着目して読む」 正答率 52% (R1 49%)
「⑳自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして文章を書く」
正答率 49% (R1 46%)
 - ・算数「②基準量と小倍数から比較量を求めることができる」
正答率 74% (R1 61%)
- ウ 国語の記述問題における「無解答率」については、今年度も課題が見られる。

(表1) 小5国語記述問題の無解答率

番号	調査問題のねらい	正答率		無解答率	
		R3	R1	R3	R1
19	段落構成を考えながら指定された文章を書く	52.4	62.3	19.2	13.0
20	自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして文章を書く	48.6	—	20.2	—

今回の国語の最後の問題は、解答を文章で書く問題でした。その問題について、どのように解答しましたか。

学年	年	最後まで解答を書こうと努力した。	解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりした。	全く解答しなかった
小学5年	R2	R3新設		
	R3	82	12	6
中学2年	R2	R3新設		
	R3	81	12	8

左は児童生徒質問紙調査に今年度新設した質問項目である。

文章で書く問題について、途中であきらめたり、全く解答しなかったりする回答が小5と中2で同程度の割合である。小学校段階で書くことについての指導改善が求められる。

【中学校】 (%)

ア 正答数5問以下の生徒の割合が数学34.9% (R1 16.9%) と増加した。問題数の削減(国語25問→20問、数学26問→20問)により、問題文の会話の中から問題解決を図る知識・活用を一体的に問う問題や文章で説明する問題を増やしたことが影響したと考えられる。

イ 経年比較問題のうち、以下に示す問題について、改善傾向が見られる。

- ・国語「④話し手の工夫を理解して聞く」 正答率83% (R1 81%)
- ・数学「①単項式の乗除の計算ができる」 正答率59% (R1 49%)

ウ 数学の記述問題における「無解答率」については、今年度も課題が見られる。

(表2) 中2数学記述問題の無解答率

番号	調査問題のねらい	正答率	無解答率
7	与えられたグラフから、時間を調べる方法について説明することができる	41.1	26.4
15	問題文に適するための条件が必要な理由を説明することができる	34.3	37.0
19	不適切だと判断した理由を数学的な表現を用いて説明することができる	56.8	27.8
20	割合が高くなる理由を相対度数を用いて説明することができる	13.1	28.8

今回の算数(数学)の問題では、解答を言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く(説明する)問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。

学年	年	全ての書く問題で最後まで書こうと努力した。	書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあった	書く問題は全く解答しなかった
小学5年	R2	R3新設		
	R3	80	18	2
中学2年	R2	R3新設		
	R3	53	40	7

左は児童生徒質問紙調査に今年度新設した質問項目である。

中2数学において、言葉や数、式を使って説明することに課題がある。小5から中2への解答の仕方について、努力する生徒の割合が減り、あきらめる生徒が増加していることから、中学校での指導について考えていく必要がある。

(%)

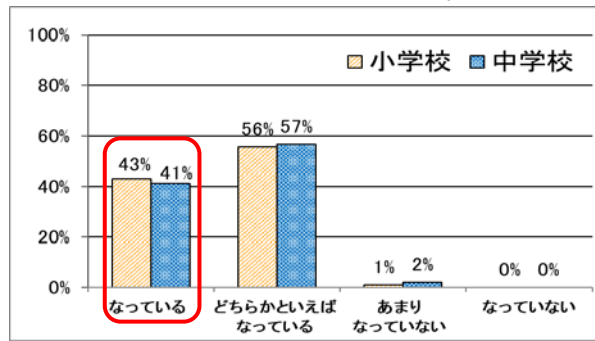
2 学校質問紙調査結果の分析

(1) 「注視する5項目」について

これまで県として推進してきた「諸調査結果を活用した『学校での組織的な対応の一層の強化』」について、「いわて県民計画(2019~2028)」第1期アクションプランに掲げる指標との関連を踏まえ、学校質問紙の中の5つの設問に注目し、分析している。

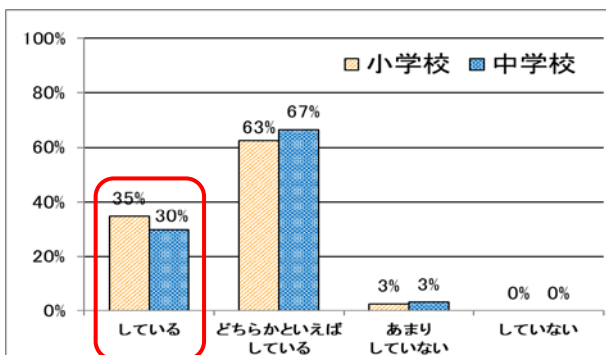
【質問項目 2】

授業で行う振り返りは、児童生徒自身が学習の成果（又は課題）を実感できる振り返りとなっていますか。



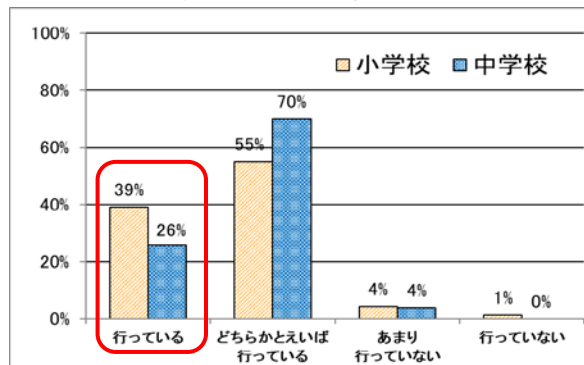
【質問項目 12】

児童生徒が自分で調べたことや考えたことを、分かりやすく文章に書く指導をしていますか。



【質問項目 27】

本年度の全国学調の自校の分析結果から見た児童生徒のつまずきに対応した授業改善を行っていますか。



【質問項目 2】「児童生徒が実感できる振り返り」

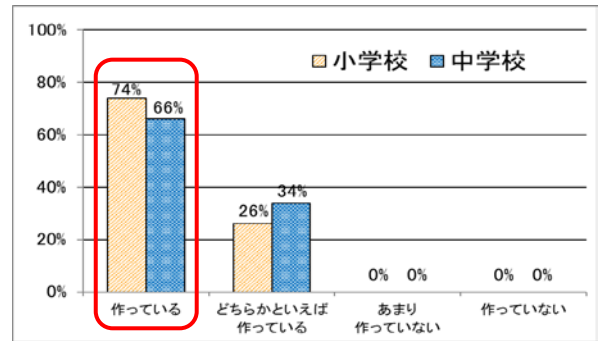
振り返りを行う際は、単に学習感想の記述や知識の確認で留まらず、課題解決のプロセスを振り返ることで、課題を解決することの達成感や学習内容の有用感を得られるようにすることが必要である。

【質問項目 8】「間違いを認める雰囲気作り」

学校質問紙での積極肯定回答の割合（小 74%、中 66%）も高く、肯定回答では小・中学校ともに 100%である。しかし、児童生徒質問紙調査結果では、積極肯定回答が小・中学校ともに 47%であり、さらに「どちらか

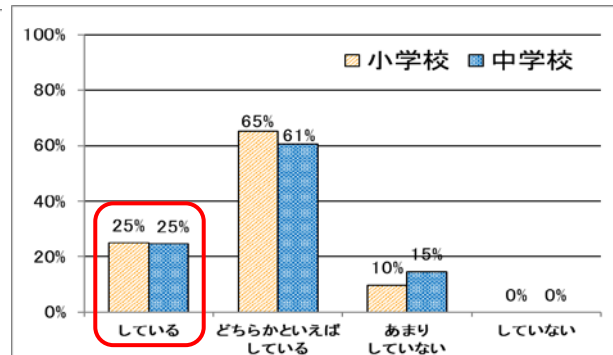
【質問項目 8】

授業を進める際、児童生徒の間違いを認める雰囲気を作っていますか。



【質問項目 16】

学校の宿題などに加え、補充のための学習や発展的な問題に、児童生徒が自ら取り組める工夫をしていますか。



すべての項目において、「している」「行っている」等の各質問項目の1番の回答（「積極肯定」）の割合を注視している。

（質問項目 12・16・27）については、小・中学校ともに積極肯定の割合が低い。

学校全体で組織的に学力向上に取り組むに当たり、本調査の各学校の分析結果については、今後も「積極肯定」に注目していく必要がある。

学級には、授業中の先生からの質問や、教科書の問題の答えなどについて、間違っても認め合える雰囲気がありますか。【児童生徒質問紙24】

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
		47	39	10	4
小学5年	R3	86	14		
中学2年	R3	47	41	10	3
		88	13		

といえばそう思わない」「そう思わない」と回答した児童生徒もいる。このことから指導者側の意識と児童生徒側の意識にズレがあることがわかる。

【質問項目 12】「調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書く」

学習の基盤となる言語能力の育成という視点からも、各学校の児童生徒の実態から課題を明らかにし、全教職員で共通理解を図り、どの教科でも「文章で書くこと」に取り組む必要がある。

【質問項目 16】「家庭学習への取組」

各学校において、児童生徒一人ひとりに合った学習計画の立て方や内容について、家庭学習の取組を振り返らせ、自己調整したり、次の学習計画に生かす等の指導が考えられる。また、児童生徒に宿題だけでなく、自主学習等に取り組ませ、教員が毎日チェック・コメントし、学習の仕方を指導していくことも必要である。

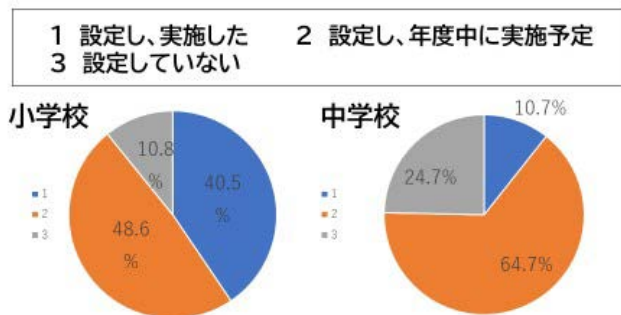
【質問項目 27】「つまずきに対応した授業改善」

各種調査結果から児童生徒の実解答（記述）に注目し、一人ひとりのつまずきの要因を把握することが重要である。

さらに、日々の授業で同様のつまずきが予想されることから、児童生徒の発言や記述そのものに着目しながら、つまずいている点を明らかにし、集団全体の理解を深めていくよう改善することが求められる。

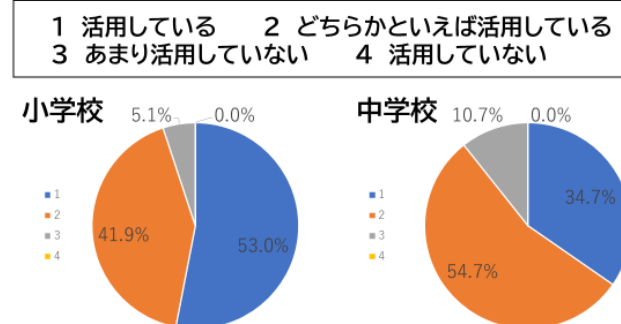
(2) 授業改善に向けて組織的・重点的に取り組むべき内容について

21 過年度の県学調の問題（一部を含む）を全教員で解いて、出題の趣旨を分析し、共通理解する時間を設定しましたか。



R2(積極肯定) 小 57.6 中 27.2

26 昨年度に作成した「確かな学力育成プラン」について、年度をまたいで教職員間で共有し、指導改善に活用していますか。



R2(積極肯定) 小 48.3 中 31.8

H29 年度調査をピークに小中ともに積極肯定が低下している。

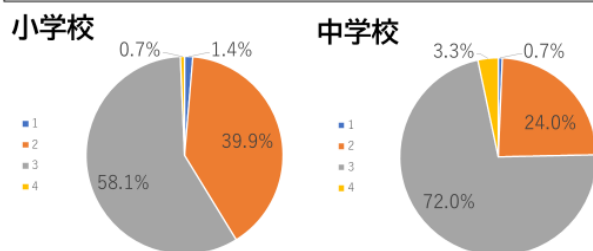
学習指導要領改訂により、身に付けさせたい資質・能力が3つに整理された。調査対象教科・学年だけに指導の改善を求めず、今、どんな力が求められているか、教科や学年を越えて、学校全体で考えていく必要がある。

積極肯定回答は、小・中学校ともにR2年度より上昇している。

「確かな学力育成プラン」を活用した検証改善サイクルの確立に向けて、全教職員で取り組むことができる検証可能なシンプルな目標を立てることが大切である。その際、学校長のリーダーシップの下で、主任層が要となり、全教職員による学校全体での取組が求められる。

31 授業改善に向けて、教員相互の授業参観をどの程度取り組んでいますか。

1 週1回以上 2 月に1回以上 3 学期に1回以上
4 その他、まだ取り組んでいない



R2(月1回以上) 小 24.8 中 15.9
(学期1回以上) 小 20.2 中 55.6

小中学校ともに「学期に1回以上」の割合が一番多く、R2年度から上昇している。

学力向上に向けて大切なことは、授業を中心とした学校全体での取組である。取組の一つとして、教科を超えて授業を見せ合うことが考えられる。各学校で教科に共通する課題を洗い出し、その課題を解決するための手立てを、授業を見る視点として取り組んでもらいたい。

※「週1回以上」の選択肢は今年度新設

3 児童生徒質問紙調査結果の分析

(1) 第1期アクションプランに掲げる指標に関する質問について (表3)

確かな学力の育成に関連する資料 ※ ()内の数値はR2年度調査	R2 実績値	R3 実績値	R3 目標値	質問紙
○児童生徒が自分で調べたことなど適切に表現する指導をしている学校の割合 【質問12】児童生徒が自分で調べたことや考えたことを、分かりやすく文章に書く指導をしていますか。	小97 中95	小97 中97	小100 中100	学校
○授業内で学習を振り返っている児童生徒の割合 【質問23】授業中の振り返る活動で、学習内容で何が大切だったか、分かったと感じていますか。	小90 中88	小90 中88	小88 中86	児童生徒
○学校の授業がよく分かる児童生徒の割合 【質問】授業の内容はよくわかりますか。 ※小4教科、中5教科の肯定回答の平均 【小】国89(91)社90(89)算85(87)理93(94) 【中】国86(89)社85(87)数74(75)理79(83)英67(73)	小90 中81	小89 中78	小93 中80	児童生徒
○つまずきに対応した授業改善が行われていると感じている児童生徒の割合 【質問24】学級には、授業中の先生からの質問や、教科書の問題の答えなどについて、間違っても認め合える雰囲気がありますか。【小】86(86)【中】88(88) 【質問25】先生は、授業で分からなかったところや、理解していないことについて分かるまで教えてください。【小】93(92)【中】91(90) ※2つの質問の平均	小89 中89	小90 中90	小88 中91	児童生徒
○弱点を克服するための学習や発展的な学習に取り組んでいる児童生徒の割合 【質問10】あなたは、学校の宿題などに加え、弱点を克服する学習に取り組んだり、発展的な問題に取り組んだりしていますか。	小67 中59	小67 中58	小80 中68	児童生徒

2つの項目で昨年度の実績値を上回った。一方、授業の内容がよくわかる児童生徒の割合が小1ポイント、中3ポイント減少した。また、中学校では5教科で減少している。

学校の授業がよく分かる児童生徒の割合「同一集団経年比較 (H30～R3)」

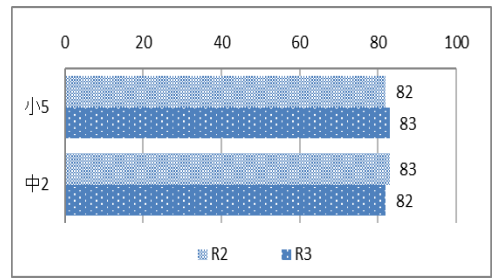
	国語	社会	数学(算数)	理科	英語
H30 (小5) 県学調	90	90	87	94	—
R1 (小6) 全国学調	88	—	84	—	—
R2 (中1) 新入生 ※中止	—	—	—	—	—
R3 (中2) 県学調	86	85	74	79	67

(2) 授業に関連した項目について

【質問項目 22】

授業中、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか。

学年	年	当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小学5年	R2	34	48	15	3
	R3	35	48	13	4
中学2年	R2	34	49	14	3
	R3	32	50	14	4
			82	18	



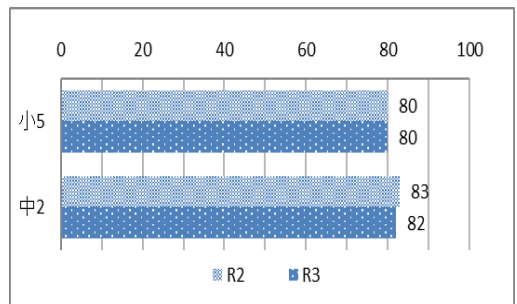
肯定回答の割合は小中学校ともに8割以上であるが、積極肯定回答となると小・中学校ともに3割程度である。この質問項目は、高校生を対象とした調査において、伸びが見られている質問項目であることから、小中高連携という視点からも注目しているところである。どの諸調査にもある質問項目であり、同一集団での経年比較も可能である。

(3) 授業以外のことに関連した項目について

【質問項目 16】

先生やまわりの人は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかとい えば そう思う	どちらかとい えば そう思わない	そう思わない
小学5年	R2	36	44	14	6
	R3	39	41	14	6
中学2年	R2	35	48	12	5
	R3	34	48	12	6
			82	18	



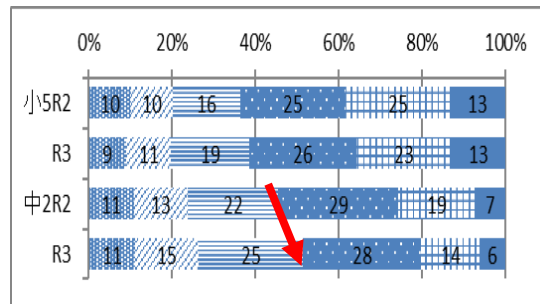
肯定回答の割合は小中学校ともに8割以上であるが、積極肯定回答となると小中学校ともに3～4割程度である。児童生徒が学校生活の様々な場面で、他者から認められる経験を通して、自己の成長を実感できるよう、全ての教育活動において、児童生徒を褒める場を増やしながら、認め、励ます評価を行っていくことが大切である。

(4) 生活習慣のことに関連した項目について

【質問項目 7】

平日、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを利用しますか。

学年	年	4時間以上	3時間以上 4時間より 少ない	2時間以上 3時間より 少ない	1時間以上 2時間より 少ない	1時間より 少ない	全くしない
小学5年	R2	10	10	16	25	25	13
	R3	9	11	19	26	23	13
中学2年	R2	11	13	22	29	19	7
	R3	11	15	25	28	14	6



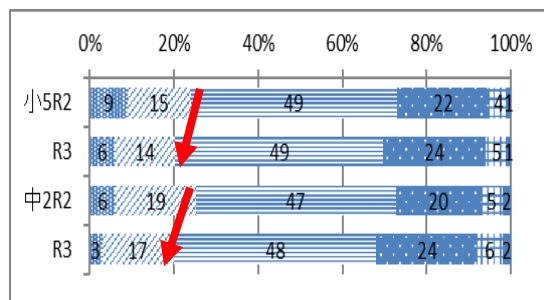
小学校については、昨年度の調査対象学年と大きな差はない。中学校については、2時間以上の使用の割合が51%であり、昨年度より5ポイント増加している。家庭での使用の仕方については、各学校の実態を把握した上で、家庭の協力を得る必要がある。学校報やPTA総会等を活用して、スマホ等の使用の仕方について協力をお願いしていくことも必要である。

(5) 家庭学習のことに関連した項目について

【質問項目 8】

学校の授業以外で、平日、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。

学年	年	3時間以上	2時間以上 3時間より 少ない	1時間以上 2時間より 少ない	30分以上 1時間より 少ない	30分より 少ない	全くしない
小学5年	R2	9	15	49	22	4	1
	R3	6	14	49	24	5	1
中学2年	R2	6	19	47	20	5	2
	R3	3	17	48	24	6	2



家庭学習2時間以上の児童生徒の割合は、小・中学校ともに減少している。改善に取り組むべき課題と捉えることができる。児童生徒の学校における学びを確実に定着させるためには、家庭学習の充実が不可欠である。家庭学習の内容はもちろん、取り組ませ方、分量、点検方法についても学校全体で共通理解を図っていく必要がある。

4 調査結果の活用と今後の取組

各機関が連携し、以下の点に取り組んでいくことが必要。

取組主体	活用及び今後の取組
学 校	教科調査結果と児童生徒質問紙調査結果の両面から児童生徒の課題を洗い出し、指導の改善に生かすことが必要である。その際、校長のリーダーシップの下で、授業を中心として教科や学年を超えた学校全体での組織的な取組を行う。併せて、児童生徒質問紙調査の分析から、スマートフォンの使い方や生活習慣等についての課題を家庭と共有し、協力を得ながら解決を目指す取組も必要である。また、家庭学習についても、宿題を与えるだけでなく、自ら進んで学習計画や内容を決めて取り組めるように指導することが大切である。
市町村教育委員会	各学校が調査結果から見られた課題等を、今年度中や次年度の指導計画へ確実に反映させ、教育活動全体の改善に積極的に取り組むよう、各学校が作成した「確かな学力育成プラン」に基づいた取組について、より一層の支援が大切である。
県教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科調査結果と質問紙調査結果から分析資料を作成し、各学校での分析の手法として提供していく。 ○ 各学校における調査結果の分析を活用した「確かな学力育成プラン」を基にした組織的対応の強化について、各種研修会や訪問指導等を通じて、継続的に支援をしていく。 ○ 分析結果を各学校への個別訪問の際に活用しながら、授業改善に活かし、指導と評価の一体化を一層推進していく。 ○ 学習の基盤となる資質・能力の1つである言語能力を育成するために、教育課程全体で「話すこと」「書くこと」といった活動を重視することを推進していく。 ○ 諸調査結果を効果的に活用し、組織的に対応している学校の実践事例の普及に取り組む。

令和3年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査 学校質問紙調査結果

2021/10/6時点で回答

2020/10/5時点で回答

296 R3の状況

300 R2の状況

151

151

	小学校	中学校
回答校数	296 100.0%	150 100.0%

	小学校	中学校
回答校数	302 100.0%	151 100.0%

※小学校に義務教育学校前期課程、中学校に同じく後期課程を含む

【授業】

1 児童生徒に示す目標(めあて・ねらい)は、児童生徒の実態や、その時間に扱う学習内容に適したものとなるよう、吟味して示していますか。

	小学校	中学校
1		
示している	219 74.0%	106 70.7%
どちらかといえば示している	77 26.0%	44 29.3%
あまり示していない	0 0.0%	0 0.0%
示していない	0 0.0%	0 0.0%

	小学校	中学校
1		
示している	221 73.7%	104 68.9%
どちらかといえば示している	79 26.3%	47 31.1%
あまり示していない	0 0.0%	0 0.0%
示していない	0 0.0%	0 0.0%

◎ 2 授業で行う振り返りは、児童生徒自身が学習の成果(又は課題)を実感できる振り返りとなっていますか。

	小学校	中学校
2		
なっている	128 43.2%	62 41.3%
どちらかといえばなっている	165 55.7%	85 56.7%
あまりなっていない	3 1.0%	3 2.0%
なっていない	0 0.0%	0 0.0%

	小学校	中学校
2		
なっている	122 40.7%	50 33.1%
どちらかといえばなっている	173 57.7%	100 66.2%
あまりなっていない	5 1.7%	1 0.7%
なっていない	0 0.0%	0 0.0%

3 児童生徒が、本時の指導目標が達成できたかどうかを、教師が主にどのような手段で確認していますか。【複数回答】

	小学校	中学校
3		
児童生徒の自己評価や相互評価	238 80.4%	133 88.7%
評価問題	263 88.9%	131 87.3%
観察	253 85.5%	127 84.7%
ノートやワークシート	289 97.6%	137 91.3%
挙手や発言	256 86.5%	93 62.0%
その他	7 2.4%	7 4.7%

	小学校	中学校
3		
児童生徒の自己評価や相互評価	242 80.7%	129 85.4%
評価問題	273 91.0%	126 83.4%
観察	258 86.0%	123 81.5%
ノートやワークシート	289 96.3%	139 92.1%
挙手や発言	257 85.7%	102 67.5%
その他	7 2.3%	9 6.0%

4 学習活動の中において、児童生徒一人ひとりのよい点や可能性を見つけて評価(褒めるなど)する取組を行っていますか。

	小学校	中学校
4		
行っている	223 75.3%	92 61.3%
どちらかといえば行っている	72 24.3%	58 38.7%
あまり行っていない	1 0.3%	0 0.0%
行っていない	0 0.0%	0 0.0%

	小学校	中学校
4		
行っている	233 77.7%	96 63.6%
どちらかといえば行っている	66 22.0%	52 34.4%
あまり行っていない	1 0.3%	3 2.0%
行っていない	0 0.0%	0 0.0%

5 児童生徒が分からなかったところや理解していないところを明らかにさせ、解決して(させて)いますか。

	小学校	中学校
5		
解決している	121 40.9%	32 21.3%
どちらかといえば解決している	174 58.8%	112 74.7%
あまり解決していない	1 0.3%	6 4.0%
解決していない	0 0.0%	0 0.0%

	小学校	中学校
5		
解決している	123 41.0%	34 22.5%
どちらかといえば解決している	176 58.7%	112 74.2%
あまり解決していない	1 0.3%	5 3.3%
解決していない	0 0.0%	0 0.0%

6 考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問を意図的・計画的に行っていますか。

	小学校	中学校
6		
行っている	128 43.2%	60 40.0%
どちらかといえば行っている	160 54.1%	90 60.0%
あまり行っていない	8 2.7%	0 0.0%
行っていない	0 0.0%	0 0.0%

	小学校	中学校
6		
行っている	148 49.3%	59 39.1%
どちらかといえば行っている	150 50.0%	90 59.6%
あまり行っていない	2 0.7%	2 1.3%
行っていない	1 0.3%	0 0.0%

7 児童生徒の応答に切り返したり、ある児童生徒の応答を受けて他の児童生徒に発問したりするなど、学級全体が問題解決に向かうよう発問をつないでいますか。

	小学校	中学校
7		
つないでいる	117 39.5%	47 31.3%
どちらかといえばつないでいる	166 56.1%	93 62.0%
あまりつないでいない	13 4.4%	10 6.7%
つないでいない	0 0.0%	0 0.0%

	小学校	中学校
7		
つないでいる	145 48.3%	44 29.1%
どちらかといえばつないでいる	154 51.3%	99 65.6%
あまりつないでいない	1 0.3%	8 5.3%
つないでいない	0 0.0%	0 0.0%

◎ 8 授業を進める際、児童生徒の間違いを認める雰囲気を作っていますか。

	小学校	中学校
8		
作っている	219 74.0%	99 66.0%
どちらかといえば作っている	77 26.0%	51 34.0%
あまり作っていない	0 0.0%	0 0.0%
作っていない	0 0.0%	0 0.0%

	小学校	中学校
8		
作っている	216 72.0%	103 68.2%
どちらかといえば作っている	83 27.7%	47 31.1%
あまり作っていない	1 0.3%	1 0.7%
作っていない	0 0.0%	0 0.0%

9 学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をするなど)の指導を徹底していますか。

	小学校	中学校
9		
徹底している	112 37.8%	69 46.0%
どちらかといえば徹底している	177 59.8%	78 52.0%
あまり徹底していない	7 2.4%	3 2.0%
徹底していない	0 0.0%	0 0.0%

	小学校	中学校
9		
徹底している	135 45.0%	68 45.0%
どちらかといえば徹底している	160 53.3%	78 51.7%
あまり徹底していない	5 1.7%	5 3.3%
徹底していない	0 0.0%	0 0.0%

10 学習方法(自分の解き方や考え方がわかるようにノートをとることや、間違いをやり直すなど)に関する指導をしていますか。

10	小学校		中学校		小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
している	163	55.1%	68	45.3%	170	56.7%	67	44.4%
どちらかといえばしている	129	43.6%	79	52.7%	120	40.0%	81	53.6%
あまりしていない	4	1.4%	3	2.0%	10	3.3%	3	2.0%
していない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

11 児童生徒に対して、根拠や理由を示しながら、自分の考えを説明できるように指導していますか。

11	小学校		中学校		小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
している	162	54.7%	54	36.0%	169	56.3%	59	39.1%
どちらかといえばしている	127	42.9%	92	61.3%	128	42.7%	89	58.9%
あましていない	7	2.4%	4	2.7%	3	1.0%	3	2.0%
していない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

◎ 12 児童生徒が自分で調べたことや考えたことを、分かりやすく文章に書く指導をしていますか。

12	小学校		中学校		小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
している	103	34.8%	45	30.0%	108	36.0%	47	31.1%
どちらかといえばしている	185	62.5%	100	66.7%	183	61.0%	96	63.6%
あましていない	8	2.7%	5	3.3%	9	3.0%	8	5.3%
していない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

13 どの児童生徒も伸ばすことを意識して、発展的な学習の指導を行っていますか。

13	小学校		中学校		小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
行っている	37	12.5%	25	16.7%	48	16.0%	18	11.9%
どちらかといえば行っている	205	69.3%	101	67.3%	195	65.0%	96	63.6%
あまし行っていない	54	18.2%	24	16.0%	57	19.0%	37	24.5%
行っていない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

14 ICT機器(パソコン、タブレット端末、電子黒板、実物投影机、プロジェクター、インターネット等)を活用した授業を1クラス当たりどの程度行って

14	小学校		中学校		小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ほぼ毎日	100	33.8%	98	65.3%	182	60.7%	104	68.9%
週1~2回	170	57.4%	45	30.0%	103	34.3%	35	23.2%
小(月に1~3回以上) 中(月に1回以上)	26	8.8%	7	4.7%	5	1.7%	10	6.6%
ほとんど、または全く行っていない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.3%

15 ICT機器について、授業において主にどのように活用していますか。【複数回答可】

15	小学校		中学校		小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
資料・写真・動画等の提示	294	99.3%	148	98.7%	295	98.3%	150	99.3%
児童生徒の考え(ノート等)の投影	204	68.9%	92	61.3%	146	48.7%	64	42.4%
教材アプリの利用	200	67.6%	95	63.3%	192	64.0%	66	43.7%
オンライン授業	13	4.4%	10	6.7%	5	1.7%	12	7.9%
学習記録の蓄積	105	35.5%	59	39.3%	69	23.0%	40	26.5%
その他	11	3.7%	4	2.7%	13	4.3%	6	4.0%

【家庭学習について】※授業時間以外の取組は家庭学習と捉えてよい。

◎ 16 学校の宿題などに加え、補充のための学習や発展的な問題に、児童生徒が自ら取り組める工夫をしていますか。

16	小学校		中学校		小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
工夫している	74	25.0%	37	24.7%	R3年度質問内容変更			
どちらかといえば工夫している	193	65.2%	91	60.7%				
あまり工夫していない	29	9.8%	22	14.7%				
工夫していない	0	0.0%	0	0.0%				

17 家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えていますか。

17	小学校		中学校		小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
積極的に与えている	30	10.1%	13	8.7%	54	18.0%	5	3.3%
どちらかといえば与えている	191	64.5%	83	55.3%	164	54.7%	78	51.7%
あまり与えていない	75	25.3%	54	36.0%	82	27.3%	67	44.4%
与えていない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%

18 【小学校】家庭学習の取り組み方や内容等について、校内の共通理解の下で指導していますか。

【中学校】生徒一人一人に合った学習計画の立て方や内容について、家庭学習の取組を振り返らせる指導をしていますか。

18	小学校		中学校		小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
行っている	203	68.6%	38	25.3%	R3年度質問内容変更			
どちらかといえば行っている	86	29.1%	88	58.7%				
あまり行っていない	7	2.4%	24	16.0%				
行っていない	0	0.0%	0	0.0%				

19 家庭学習の意義や取り組み方について、主にどのような方法で保護者と共通理解を図っていますか。

19	小学校		中学校		小学校		中学校	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
保護者会等での説明	135	45.6%	22	14.7%	118	39.3%	26	17.2%
期末面談等における面談	43	14.5%	103	68.7%	62	20.7%	91	60.3%
学校だより等における周知	113	38.2%	22	14.7%	115	38.3%	32	21.2%
その他	5	1.7%	3	2.0%	5	1.7%	2	1.3%

※R2は複数回答

【学校の取組について】

20 全国学調、県学調について、具体的にどのような目標を設定して計画的に取り組みましたか。【複数回答】

20	小学校		中学校		小学校		中学校	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
教科調査の正答率と県平均の差	238	80.4%	125	83.3%	260	86.1%	131	86.8%
教科調査の正答率	208	70.3%	95	63.3%	216	71.5%	88	58.3%
教科調査の無解答率と県平均の差	78	26.4%	39	26.0%	84	27.8%	36	23.8%
教科調査の無解答率	122	41.2%	46	30.7%	105	34.8%	46	30.5%
児童生徒質問紙の結果の分布	158	53.4%	99	66.0%	184	60.9%	110	72.8%
同一集団の経年比較	97	32.8%	61	40.7%	109	36.1%	63	41.7%

21 過年度の県学調の問題(一部を含む)を全教員で解いて、出題の趣旨を分析し共通理解する時間を設定しましたか。

21	小学校		中学校		小学校		中学校	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
設定し、実施した	120	40.5%	16	10.7%	174	57.6%	41	27.2%
設定し、年度中に実施予定である	144	48.6%	97	64.7%	96	31.8%	60	39.7%
設定していない	32	10.8%	37	24.7%	32	10.6%	50	33.1%

22 全国学調の問題(一部を含む)を全教員で解いて、出題の趣旨を分析し共通理解する時間を設定しましたか。

22	小学校		中学校		小学校		中学校	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
設定し、実施した	154	52.0%	31	20.7%	154	51.0%	34	22.5%
設定し、年度中に実施予定である	131	44.3%	88	58.7%	127	42.1%	62	41.1%
設定していない	11	3.7%	31	20.7%	21	7.0%	55	36.4%

23 教科調査の結果分析の際、何を用いて行っていますか。【複数回答可】

23	小学校		中学校		小学校		中学校	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
教科全体の正答率	240	81.1%	126	84.0%	241	79.8%	125	82.8%
問題ごとの正答率	282	95.3%	134	89.3%	288	95.4%	132	87.4%
分布状況	153	51.7%	78	52.0%	133	44.0%	75	49.7%
誤答の反応率	128	43.2%	43	28.7%	123	40.7%	47	31.1%
児童生徒の記述内容(実解答)	118	39.9%	39	26.0%	121	40.1%	47	31.1%

24 昨年度の県学調(児童生徒質問紙調査)の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。(※R3質問内容変更)

24	小学校		中学校		小学校		中学校	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
活用した	139	47.0%	62	41.3%	187	61.9%	71	47.0%
どちらかといえば活用した	139	47.0%	78	52.0%	113	37.4%	72	47.7%
あまり活用していない	18	6.1%	10	6.7%	2	0.7%	8	5.3%

25 昨年度の県学調(児童生徒質問紙調査)の「集計・分析シート」の内容等から、学習に関する状況や課題を全ての教員で共有し、学校として組織的に課題の分析や指導方法の改善等に取り組んでいますか。(※R3質問内容変更)

25	小学校		中学校		小学校		中学校	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
取り組んでいる	112	37.8%	43	28.7%	137	45.4%	47	31.1%
どちらかといえば取り組んでいる	151	51.0%	90	60.0%	148	49.0%	85	56.3%
あまり取り組んでいない	26	8.8%	14	9.3%	15	5.0%	19	12.6%
取り組んでいない	7	2.4%	3	2.0%	2	0.7%	0	0.0%

26 昨年度に作成した「確かな学力育成プラン」等に記載した調査結果の分析内容や目標設定、取組計画などについて、年度をまたいで教職員間で共有し、指導改善に向けて活用していますか。

26	小学校		中学校		小学校		中学校	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
活用している	157	53.0%	52	34.7%	146	48.3%	48	31.8%
どちらかといえば活用している	124	41.9%	82	54.7%	138	45.7%	86	57.0%
あまり活用していない	15	5.1%	16	10.7%	17	5.6%	17	11.3%
活用していない	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%

◎ 27 本年度の全国学調の自校の分析結果から見た児童生徒のつまずきに対応した授業改善を行っていますか。

27	小学校		中学校		小学校		中学校	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
行っている	116	39.2%	39	26.0%	R2年度は回答を求めず			
どちらかといえば行っている	163	55.1%	105	70.0%				
あまり行っていない	13	4.4%	6	4.0%				
行っていない	4	1.4%	0	0.0%				

28 昨年度の学校評価を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか。

28	小学校		中学校		小学校		中学校	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
働きかけをし、協力を得ている	276	93.2%	123	82.0%	284	94.0%	128	84.8%
働きかけたが、協力を得られない	10	3.4%	14	9.3%	9	3.0%	9	6.0%
働きかけていない	10	3.4%	13	8.7%	9	3.0%	14	9.3%

29 本年度の全国学調の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか。

29	小学校		中学校		小学校		中学校	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
行った	62	20.9%	17	11.3%	R2年度は回答を求めず			
行う予定	171	57.8%	100	66.7%				
行っていない(行う予定はない)	63	21.3%	33	22.0%				

30 本年度の全国学調の分析結果について、同一校区の中学校(小学校)と成果や課題を共有しましたか。

30	小学校		中学校	
共有した	37	12.5%	26	17.3%
共有する予定	143	48.3%	77	51.3%
共有していない(共有する予定はない)	116	39.2%	47	31.3%

小学校	中学校
R2年度は回答を求めず	

31 授業改善に向けて、教員相互の授業参観にどの程度取り組んでいますか。

(※R3選択肢変更)

31	小学校		中学校	
週に1回以上	4	1.4%	1	0.7%
月に1回以上	118	39.9%	36	24.0%
学期に1回以上	172	58.1%	108	72.0%
その他、または取り組んでいない	2	0.7%	5	3.3%

小学校		中学校		
月に1回以上	75	24.8%	24	15.9%
2ヶ月に1回程度	64	54.3%	39	25.8%
学期に1回程度	61	20.2%	84	55.6%
	2	0.7%	4	2.6%

32 校内の授業研究会後に、今後すべての教員が取り組む内容(学校全体で取り組んでいくこと)について、確認していますか。

32	小学校		中学校	
行っている	195	65.9%	74	49.3%
どちらかといえば行っている	88	29.7%	64	42.7%
あまり行っていない	13	4.4%	12	8.0%
行っていない	0	0.0%	0	0.0%

小学校	中学校
R3年度新規	

33 教科横断的な取組として、すべての教科で、思考力・判断力・表現力等を育成するための言語活動に取り組んでいますか。

(例)すべての教科の指導において、自分の考えを文章として書くことを徹底している。

33	小学校		中学校	
行っている	77	26.0%	37	24.7%
どちらかといえば行っている	207	69.9%	99	66.0%
あまり行っていない	12	4.1%	14	9.3%
行っていない	0	0.0%	0	0.0%

小学校	中学校
R3年度新規	

34 校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか。(※R3選択肢変更)

34	小学校		中学校	
ほぼ毎日	243	82.1%	70	46.7%
週に2~3回程度	40	13.5%	57	38.0%
月に1回程度	13	4.4%	23	15.3%
ほとんど行っていない	0	0.0%	0	0.0%

小学校		中学校		
	237	78.5%	65	43.0%
	52	17.2%	58	38.4%
	13	4.3%	25	16.6%
	0	0.0%	3	2.0%

35 Gアップシートを活用(授業の補充、家庭学習等)していますか。

35	小学校		中学校	
活用している			33	22.0%
どちらかといえば活用している	回答しない		69	46.0%
あまり活用していない	回答しない		42	28.0%
ほとんど行っていない	回答しない		6	4.0%

小学校		中学校	
回答しない		51	33.8%
回答しない		67	44.4%
回答しない		30	19.9%
回答しない		3	2.0%

36 平日の部活動や父母会の活動、スポーツ少年団等の活動について、児童生徒の帰宅時刻が遅くならないよう、部活動顧問や父母会・スポーツ少年団活動の責任者や指導者等との連携を図っていますか。【複数回答】

36	小学校		中学校	
図っている	52	17.6%	115	76.7%
どちらかといえば図っている	86	29.1%	30	20.0%
あまり図っていない	68	23.0%	3	2.0%
図っていない	41	13.9%	1	0.7%
帰宅時間が遅くなる活動はない	49	16.6%	1	0.7%

小学校		中学校		
	56	18.5%	112	74.2%
	88	29.1%	29	19.2%
	73	24.2%	4	2.6%
	40	13.2%	1	0.7%
	45	14.9%	5	3.3%

37 同一校区の小学校(中学校)と教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、共通の取組を行っていますか。

37	小学校		中学校	
行っている	77	26.0%	30	20.0%
どちらかといえば行っている	88	29.7%	54	36.0%
あまり行っていない	101	34.1%	53	35.3%
行っていない	30	10.1%	13	8.7%

小学校		中学校		
	79	26.2%	40	26.5%
	96	31.8%	39	25.8%
	97	32.1%	49	32.5%
	30	9.9%	23	15.2%

38 同一校区の小学校(中学校)と、家庭における学習・生活習慣等について、共通の取組を行っていますか。

【例】「家庭学習強化週間」「ノーメディアデー」など

40	小学校		中学校	
行っている	240	81.1%	116	77.3%
どちらかといえば行っている	37	12.5%	22	14.7%
あまり行っていない	13	4.4%	9	6.0%
行っていない	6	2.0%	3	2.0%

小学校		中学校		
	256	84.8%	112	74.2%
	34	11.3%	22	14.6%
	11	3.6%	10	6.6%
	1	0.3%	7	4.6%

参考資料1

39 各教科等の特質に応じ、家庭や地域社会と連携しつつ、体系的・継続的な体験活動ができるよう工夫していますか。

39	小学校		中学校	
	工夫している	152	51.4%	46
どちらかといえば工夫している	126	42.6%	77	51.3%
あまり工夫していない	17	5.7%	26	17.3%
工夫していない	1	0.3%	1	0.7%

小学校		中学校		
	154	51.0%	52	34.4%
	133	44.0%	72	47.7%
	15	5.0%	25	16.6%
	0	0.0%	2	1.3%

40 伝統的な文化芸術活動を学習または発表する活動を行っていますか。

40	小学校		中学校	
	行っている	187	63.2%	70
どちらかといえば行っている	47	15.9%	19	12.7%
あまり行っていない	41	13.9%	35	23.3%
行っていない	21	7.1%	26	17.3%

小学校		中学校		
	192	63.6%	73	48.3%
	41	13.6%	19	12.6%
	36	11.9%	26	17.2%
	33	10.9%	33	21.9%

41 いわたの「授業ユニバーサルデザイン」について、校内の共通理解の下で取り組んでいますか。

(例)校内研究会の協議の視点にしている。

41	小学校		中学校	
	取り組んでいる	91	30.7%	32
どちらかといえば取り組んでいる	154	52.0%	77	51.3%
あまり取り組んでいない	48	16.2%	40	26.7%
取り組んでいない	3	1.0%	1	0.7%

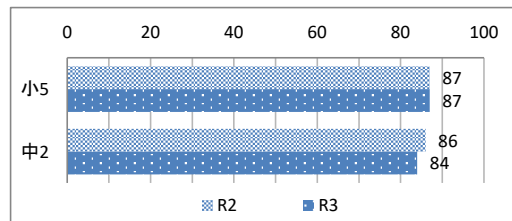
小学校	中学校
R3年度新規	

令和3年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査 児童生徒質問紙調査結果

※小学5年には義務教育学校第5学年、中学2年には義務教育学校第8学年が含まれます。

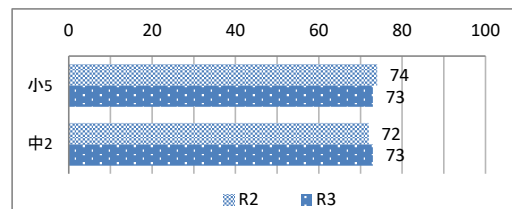
1 学校に行くのは楽しいと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
小学5年	R2	52	35	9	4
	R3	87	10	13	4
中学2年	R2	51	35	10	4
	R3	84	16	11	5



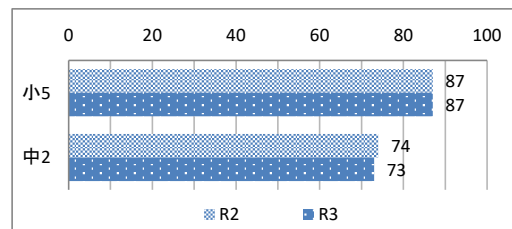
2 自分にはよいところがあると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
小学5年	R2	28	46	18	8
	R3	74	21	18	10
中学2年	R2	25	47	20	8
	R3	71	20	28	10



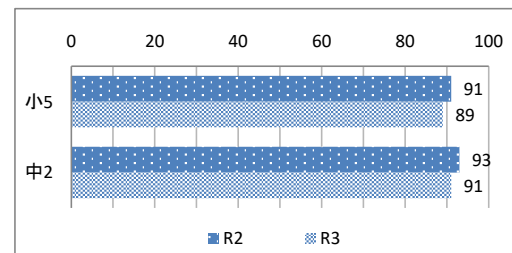
3 あなたは将来の夢や目標をもっていますか。

学年	年	当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小学5年	R2	66	21	8	5
	R3	87	21	8	5
中学2年	R2	42	32	17	9
	R3	73	31	16	11



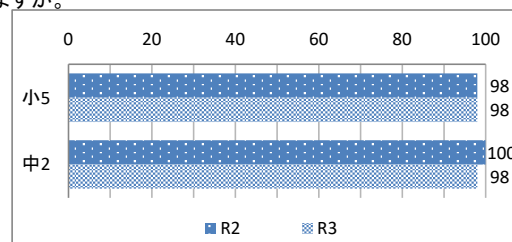
4 新聞、テレビ、インターネットなどでニュースを見ますか。

学年	年	ほぼ毎日 読んでいる	週に1〜3回 程度読んでいる	どちらかといえば 見ない	ほとんどまたは 全く見ない
小学5年	R2	66	25	7	5
	R3	91	23	6	4
中学2年	R2	71	22	5	2
	R3	91	22	6	3



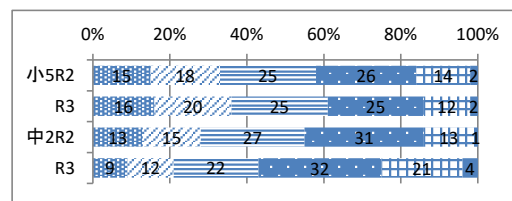
5 携帯電話やスマートフォンを使う時は、安全に正しく使うこと(ルールを守ること)が大切だと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
小学5年	R2	90	8	1	1
	R3	98	10	1	1
中学2年	R2	87	11	1	1
	R3	98	11	1	1



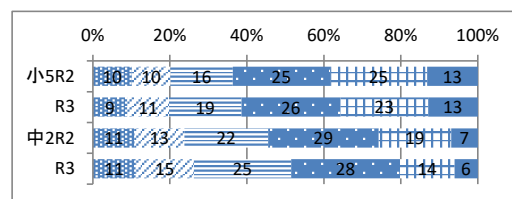
6 平日(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを観ますか。

学年	年	4時間以上	3時間以上 4時間より 少ない	2時間以上 3時間より 少ない	1時間以上 2時間より 少ない	1時間より 少ない	全く観ない
小学5年	R2	15	18	25	26	14	2
	R3	16	20	25	25	12	2
中学2年	R2	13	15	27	31	13	1
	R3	9	12	22	32	21	4



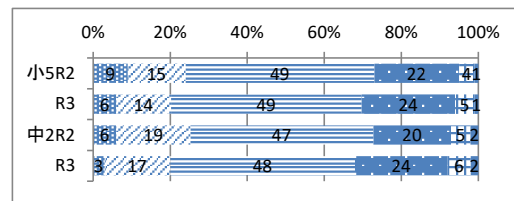
7 平日(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを利用しますか。

学年	年	4時間以上	3時間以上 4時間より 少ない	2時間以上 3時間より 少ない	1時間以上 2時間より 少ない	1時間より 少ない	全くしない
小学5年	R2	10	10	16	25	25	13
	R3	9	11	19	26	23	13
中学2年	R2	11	13	22	29	19	7
	R3	11	15	25	28	14	6



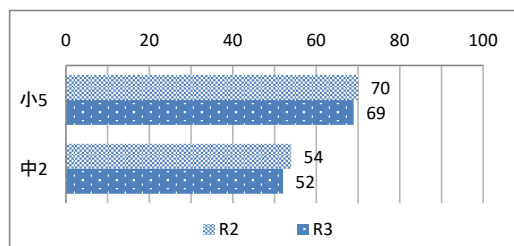
8 学校の授業以外で、平日(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。

学年	年	3時間以上	2時間以上 3時間より 少ない	1時間以上 2時間より 少ない	30分以上 1時間より 少ない	30分より 少ない	全くしない
小学5年	R2	9	15	49	22	4	1
	R3	6	14	49	24	5	1
中学2年	R2	6	19	47	20	5	2
	R3	3	17	48	24	6	2



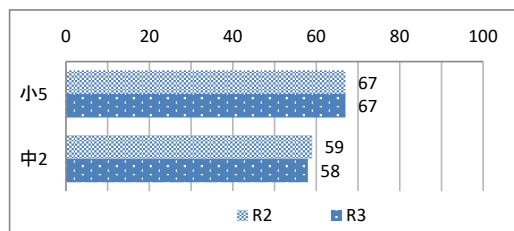
9 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

学年	年	している	どちらかとい えば している	どちらかとい えば していない	していない
小学5年	R2	32	38	20	10
	R3	31	38	19	11
中学2年	R2	16	38	30	16
	R3	15	37	28	20



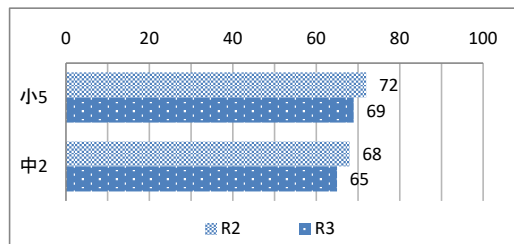
10 学校の宿題などに加え、弱点を克服する学習に取り組んだり、発展的な問題に取り組んだりしていますか。

学年	年	当てはまる	どちらかとい えば 当てはまる	どちらかとい えば 当てはまらない	当てはまらない
小学5年	R2	23	44	23	10
	R3	24	43	23	10
中学2年	R2	16	43	29	12
	R3	16	42	29	13



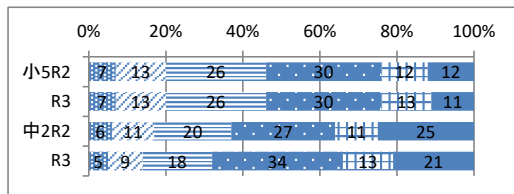
11 学校で行う鑑賞教室などを通じて、様々な芸術文化に触れ、興味がわきましたか。

学年	年	当てはまる	どちらかとい えば 当てはまる	どちらかとい えば 当てはまらない	当てはまらない
小学5年	R2	33	39	18	10
	R3	30	39	18	13
中学2年	R2	24	44	21	11
	R3	23	42	21	13



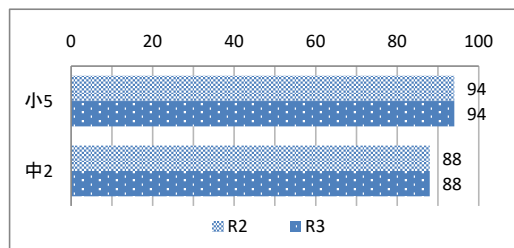
12 平日(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか。

学年	年	2時間以上	1時間以上 2時間より 少ない	30分以上 1時間より 少ない	10分以上 30分より 少ない	10分より 少ない	全くしない
小学5年	R2	7	13	26	30	12	12
	R3	7	13	26	30	13	11
中学2年	R2	6	11	20	27	11	25
	R3	5	9	18	34	13	21



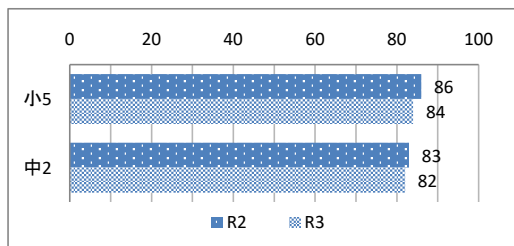
13 自分の住む地域には、良いところがあると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかとい えば そう思う	どちらかとい えば そう思わない	そう思わない
小学5年	R2	71	23	4	2
	R3	72	22	4	2
中学2年	R2	52	36	8	4
	R3	53	35	8	4



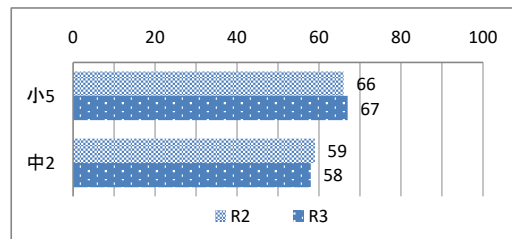
14 学校や地域で行う体験活動に、今後も継続して参加したいと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかとい えば そう思う	どちらかとい えば そう思わない	そう思わない
小学5年	R2	49	37	10	4
	R3	47	37	11	5
中学2年	R2	40	43	12	5
	R3	39	43	12	6



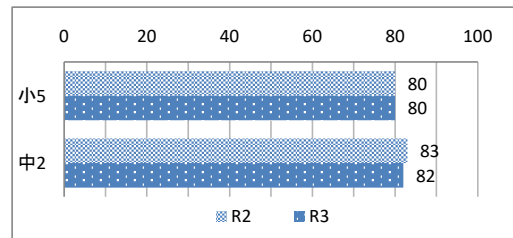
15 自分の住む地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることがありますか。

学年	年	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
小学5年	R2	24	42	24	10
	R3	26	41	23	10
中学2年	R2	19	40	29	13
	R3	19	39	28	15
		67	33	58	43



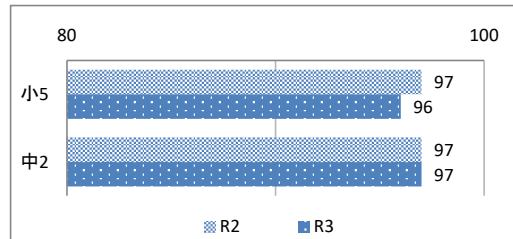
16 先生やまわりの人は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	R2	36	44	14	6
	R3	39	41	14	6
中学2年	R2	35	48	12	5
	R3	34	48	12	6
		80	20	80	20
		83	17	82	18



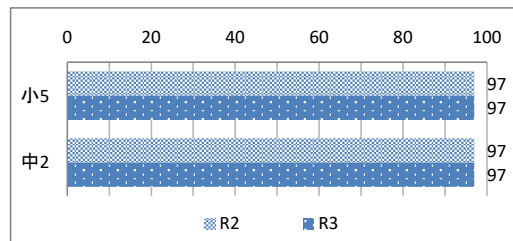
17 人が困っているときは、進んで助けようと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	R2	69	28	3	1
	R3	68	28	3	1
中学2年	R2	68	29	2	1
	R3	67	30	2	1
		97	4	97	3
		97	3	97	3



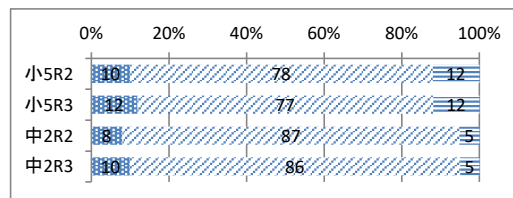
18 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	R2	83	14	2	1
	R3	84	13	2	1
中学2年	R2	83	14	2	1
	R3	85	12	2	1
		97	3	97	3
		97	3	97	3



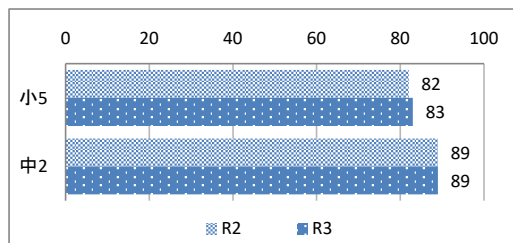
19 悩みなど困ったときに相談する、学校以外の相談窓口があることを知っていますか。

学年	年	連絡先まで知っている	あることは知っている	知らない
小学5年	R2	10	78	12
	R3	12	77	12
中学2年	R2	8	87	5
	R3	10	86	5



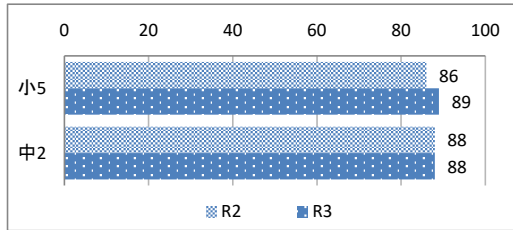
20 友だちと話し合うとき、自分の考えを相手にきちんと伝えながら、少数の意見にも耳を傾け、意見をまとめていると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	R2	32	50	14	4
	R3	33	50	12	4
中学2年	R2	41	48	9	2
	R3	40	49	9	2
		82	18	83	16
		89	11	89	11



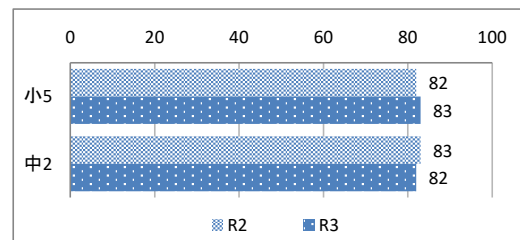
21 学級は、お互いに助け合ったり、お互いのよさを認め合ったりできている学級だと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	R2	49	37	11	3
	R3	54	35	9	3
中学2年	R2	48	40	9	3
	R3	49	39	9	3
		86	14	89	11
		88	12	88	12



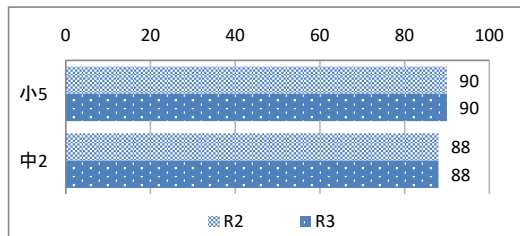
22 授業中、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか。

学年	年	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
小学5年	R2	34	48	15	3
	R3	82	18		
中学2年	R2	35	48	13	4
	R3	83	17		
小学5年	R2	34	49	14	3
	R3	83	17		
中学2年	R2	32	50	14	4
	R3	82	18		



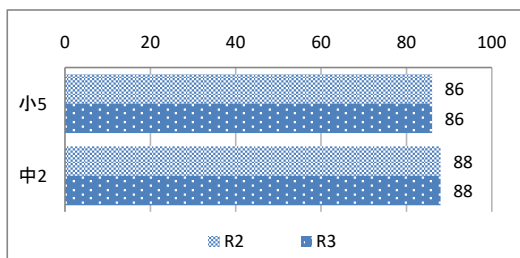
23 あなたは授業中の振り返る活動で、学習内容で何が大切だったかが、分かったと感じていますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	R2	46	44	8	2
	R3	90	10		
中学2年	R2	48	42	8	2
	R3	90	10		
小学5年	R2	38	50	10	2
	R3	88	12		
中学2年	R2	38	50	10	3
	R3	88	13		



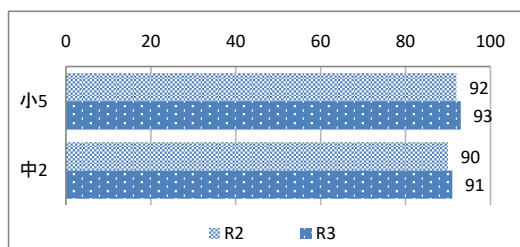
24 学級には、授業中の先生からの質問や、教科書の問題の答えなどについて間違っても認め合える雰囲気がありますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	R2	46	40	11	3
	R3	86	14		
中学2年	R2	47	39	10	4
	R3	86	14		
小学5年	R2	46	42	9	3
	R3	88	12		
中学2年	R2	47	41	10	3
	R3	88	13		



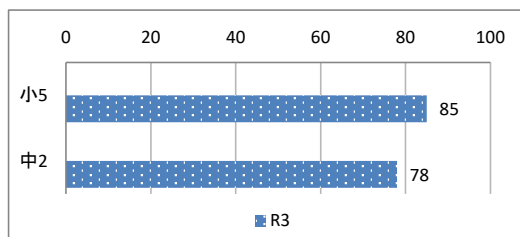
25 先生は、授業で分からなかったところや、理解していないところについて分かるまで教えてくれますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	R2	66	26	6	2
	R3	92	8		
中学2年	R2	66	27	5	2
	R3	93	7		
小学5年	R2	51	39	7	3
	R3	90	10		
中学2年	R2	52	39	7	2
	R3	91	9		



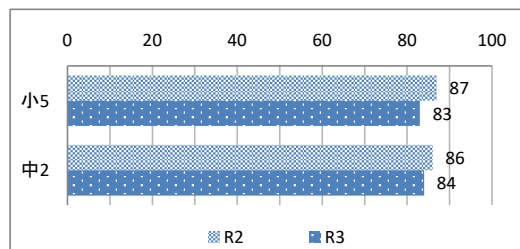
26 テストで間違えた問題について、間違えたところを後でやり直していますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	R2	R3新設			
	R3	56	29	10	4
中学2年	R2	R3新設			
	R3	38	40	15	7
		85	14		
		78	22		



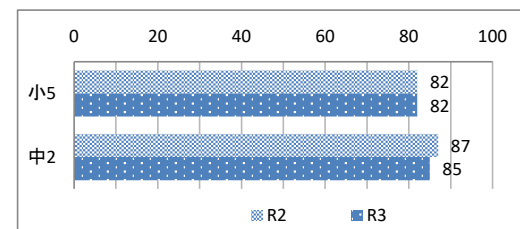
27 あなたは、授業で分からなかったところなどや理解していないところについて、自分で調べたり、先生や友だちに聞いたりして、解決していますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	R2	51	36	9	4
	R3	87	13		
中学2年	R2	46	37	11	5
	R3	83	16		
小学5年	R2	49	37	10	4
	R3	86	14		
中学2年	R2	44	40	11	4
	R3	84	15		



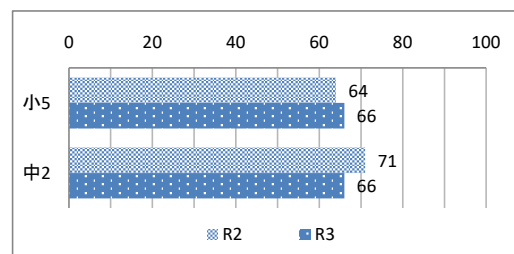
28 授業では、学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	R2	37	45	14	4
	R3	82	18		
中学2年	R2	39	43	14	5
	R3	82	19		
小学5年	R2	45	42	11	2
	R3	87	13		
中学2年	R2	42	43	11	4
	R3	85	15		



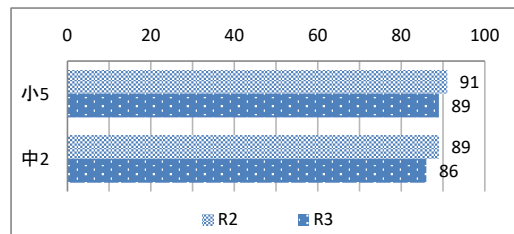
29 国語の勉強は好きですか。

学年	年	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば好きではない	好きではない
小学5年	R2	25	39	24	12
	R3	64	36		
中学2年	R2	27	39	22	12
	R3	66	34		
小学5年	R2	28	43	21	8
	R3	71	29		
中学2年	R2	24	42	24	10
	R3	66	34		



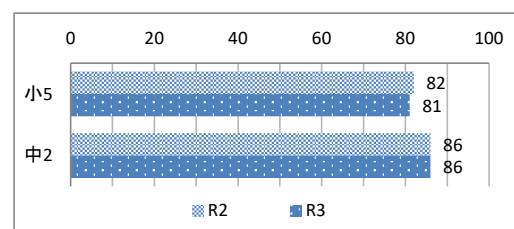
30 国語の授業の内容はよくわかりますか。

学年	年	よく分かる	どちらかといえば分かる	どちらかといえば分からない	分からない
小学5年	R2	43	48	7	2
	R3	91	9		
中学2年	R2	42	47	8	2
	R3	89	10		
小学5年	R2	37	52	9	2
	R3	89	11		
中学2年	R2	31	55	11	3
	R3	86	14		



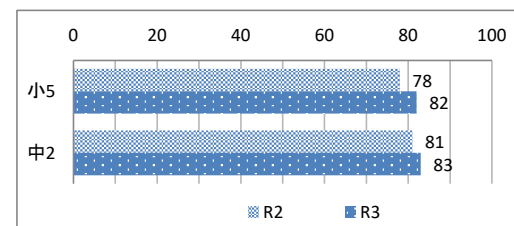
31 国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、考えの理由が分かるように気を付けていますか。

学年	年	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
小学5年	R2	37	45	15	3
	R3	82	18		
中学2年	R2	38	43	14	4
	R3	81	18		
小学5年	R2	37	48	12	2
	R3	86	14		
中学2年	R2	37	49	11	3
	R3	86	14		



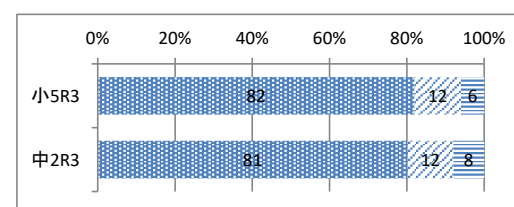
32 国語の授業で文章を読むとき、目的を意識して、必要な情報を見つけながら読んでいますか。

学年	年	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
小学5年	R2	34	44	17	5
	R3	78	22		
中学2年	R2	36	46	14	4
	R3	82	18		
小学5年	R2	36	45	16	3
	R3	81	19		
中学2年	R2	37	46	11	3
	R3	83	14		



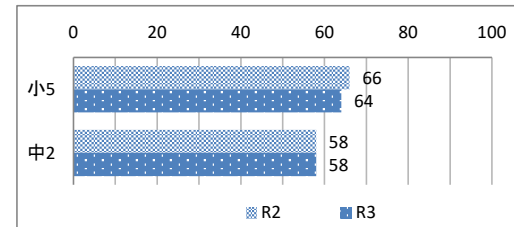
33 今回の国語の最後の問題は、解答を文章で書く問題でした。その問題について、どのように解答しましたか。

学年	年	最後まで解答を書こうと努力した。	解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりした	全く解答しなかった
小学5年	R2	R3新設		
	R3	82	12	6
中学2年	R2	R3新設		
	R3	81	12	8



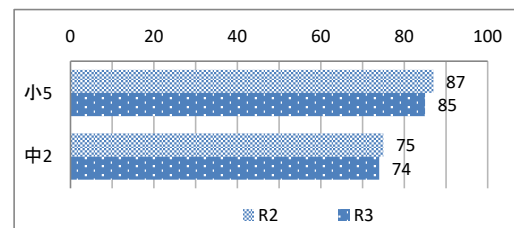
34 算数・数学の勉強は好きですか。

学年	年	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば好きではない	好きではない
小学5年	R2	38	28	19	15
	R3	66	34		
中学2年	R2	36	28	20	16
	R3	64	36		
小学5年	R2	29	29	25	17
	R3	58	42		
中学2年	R2	29	29	24	18
	R3	58	42		



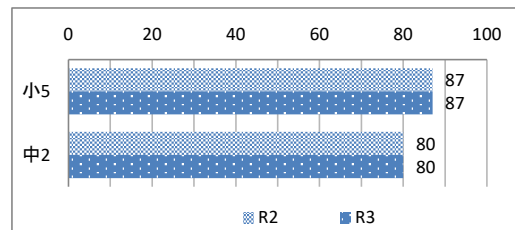
35 算数・数学の授業の内容はよくわかりますか。

学年	年	よく分かる	どちらかといえば分かる	どちらかといえば分からない	分からない
小学5年	R2	48	39	10	3
	R3	87	13		
中学2年	R2	47	38	10	4
	R3	85	14		
小学5年	R2	36	39	18	7
	R3	75	25		
中学2年	R2	34	40	18	8
	R3	74	26		



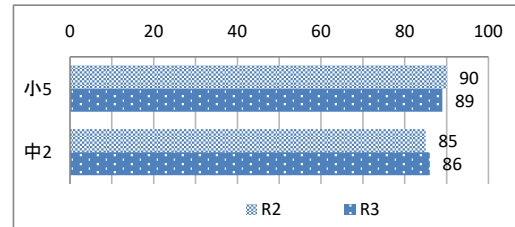
36 算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ(根拠)を理解するようにしていますか。

学年	年	当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小学5年	R2	49	38	10	3
		87			13
	R3	49	38	10	3
中学2年	R2	41	39	16	4
		80			20
	R3	38	42	14	5
		80			19



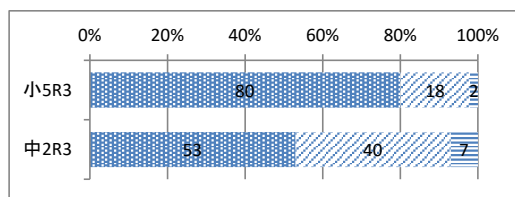
37 算数・数学の授業で、問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。

学年	年	当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小学5年	R2	59	31	8	2
		90			10
	R3	60	29	8	3
中学2年	R2	55	30	10	5
		85			15
	R3	53	33	9	4
		86			13



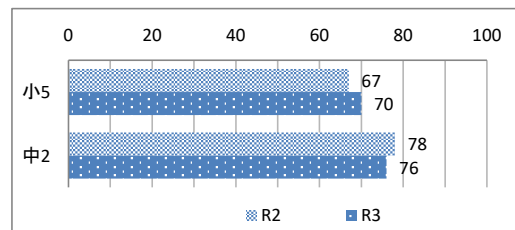
38 今回の算数(数学)の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く(説明する)問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。

学年	年	全ての書く問題で 最後まで書こうと 努力した。	書く問題で解答し なかつたり、解答 を書くことを途中 できらめたりし たものがあつた	書く問題は全く解 答しなかつた
小学5年	R2	R3新設		
		80	18	2
	R3	80	18	2
中学2年	R2	R3新設		
		53	40	7
	R3	53	40	7



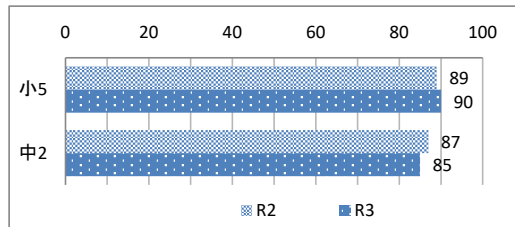
39 社会の勉強は好きですか。

学年	年	好き	どちらかとい えば 好き	どちらかとい えば 好きではない	好きではない
小学5年	R2	34	33	21	12
		67			33
	R3	38	32	18	12
中学2年	R2	43	35	16	7
		78			23
	R3	43	33	16	7
		76			23



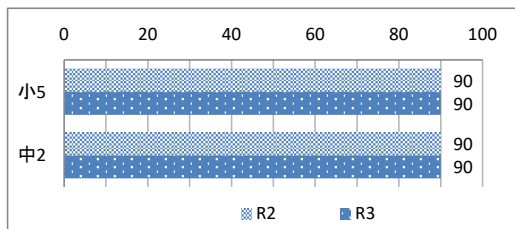
40 社会の授業の内容はよく分かりますか。

学年	年	よく分かる	どちらかとい えば 分かる	どちらかとい えば 分からない	分からない
小学5年	R2	50	39	9	2
		89			11
	R3	53	37	7	3
中学2年	R2	46	41	10	3
		87			13
	R3	44	41	11	3
		85			14



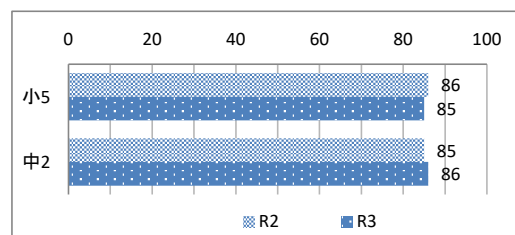
41 社会の授業で学習問題(学習課題)を解決するとき、資料から関係のあることを読み取る活動を行っていますか。

学年	年	そう思う	どちらかとい えば そう思う	どちらかとい えば そう思わない	そう思わない
小学5年	R2	55	35	8	2
		90			10
	R3	55	35	8	2
中学2年	R2	55	35	8	2
		90			10
	R3	53	37	8	2
		90			10



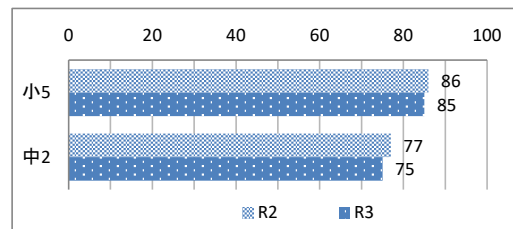
42 社会の授業で、資料から読み取ったことなどをもとに、学習問題(学習課題)について考える活動を行っていますか。

学年	年	そう思う	どちらかとい えば そう思う	どちらかとい えば そう思わない	そう思わない
小学5年	R2	43	43	12	2
		86			14
	R3	45	40	11	3
中学2年	R2	45	40	12	3
		85			15
	R3	45	41	11	3
		86			14



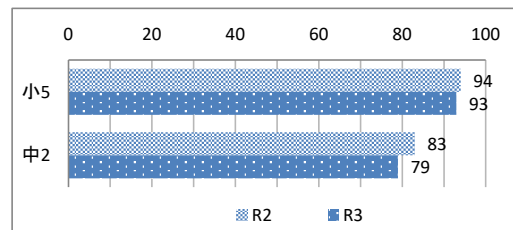
43 理科の勉強は好きですか。

学年	年	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば好きではない	好きではない
小学5年	R2	58	28	9	5
		86		14	
	R3	56	29	10	5
中学2年	R2	40	37	16	7
		77		23	
	R3	38	37	18	8
		75		26	



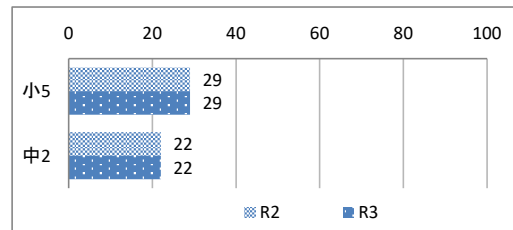
44 理科の授業の内容はよくわかりますか。

学年	年	よく分かる	どちらかといえば分かる	どちらかといえば分からない	分からない
小学5年	R2	63	31	5	1
		94		6	
	R3	61	32	5	2
中学2年	R2	39	44	13	4
		83		17	
	R3	33	46	16	5
		79		21	



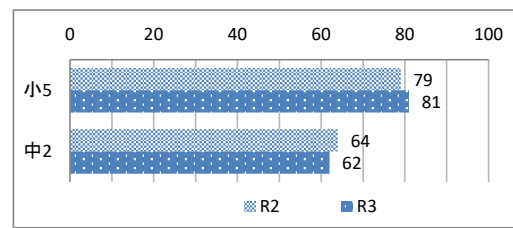
45 将来、理科や科学技術に関する職業に就きたいと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	R2	12	17	29	42
		29		71	
	R3	13	16	30	41
中学2年	R2	9	14	30	47
		23		77	
	R3	8	14	30	48
		22		78	



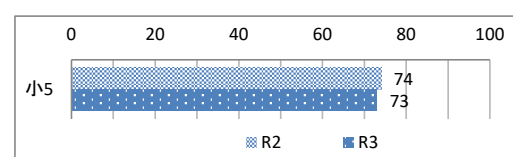
46 理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できるか考えますか。

学年	年	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
小学5年	R2	41	38	15	6
		79		21	
	R3	44	37	13	6
中学2年	R2	25	39	25	11
		64		36	
	R3	24	38	25	13
		62		38	



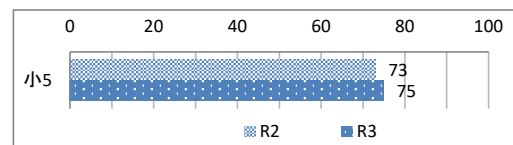
47 外国語の勉強は好きですか。【小学校】

学年	年	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば好きではない	好きではない
小学5年	R2	42	32	16	10
		74		26	
	R3	42	31	15	11
		73		26	



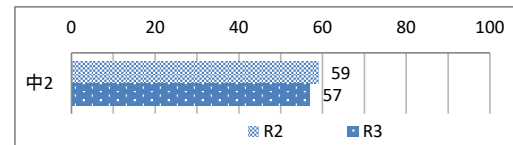
48 外国語を使って、外国の人と話をしたり、仲良くなったりしてみたいと思いますか。【小学校】

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	R2	45	28	16	11
		73		27	
	R3	47	28	14	11
		75		25	



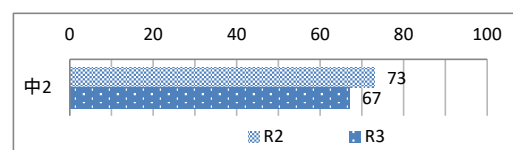
49 英語の勉強は好きですか。【中学校】

学年	年	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば好きではない	好きではない
中学2年	R2	27	32	25	16
		59		41	
	R3	26	31	25	18
		57		43	



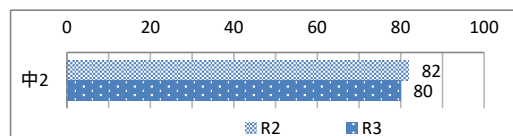
49 英語の授業の内容はよくわかりますか。【中学校】

学年	年	よく分かる	どちらかといえば分かる	どちらかといえば分からない	分からない
中学2年	R2	31	42	19	8
		73		27	
	R3	27	40	22	11
		67		33	



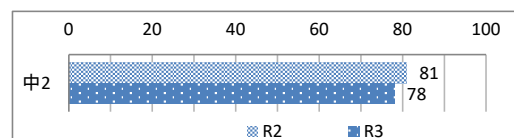
49 英語の授業で、まとまりのある英文を聞いたり読んだりして、文章全体の概要や要点をとらえる活動をしていますか。【中学校】

学年	年	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
中学2年	R2	43	39	13	5
		82		18	
	R3	40	40	14	6
		80		20	



⑤ 英語の授業で、聞いたり読んだりしたことについて、自分の考えや気持ちを英語で話したり、書いたりする活動をしていますか。【中学校】

学年	年	当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
中学2年	R2	44	37	13	6
		81		19	
	R3	39	39	15	7
		78		22	



事務報告 3

令和4年度県立一関第一高等学校附属中学校入学者選抜に係る出願状況について

令和4年度岩手県立一関第一高等学校附属中学校入学者選抜の出願状況について、別紙のとおり報告します。

令和3年12月20日

令和4年度県立一関第一高等学校附属中学校入学者選抜に係る出願状況について

1 入学願書受付期間

令和3年11月24日（水）から令和3年12月2日（木）まで

2 入学志願者数

定員	入学志願者数	志願倍率	備考
70	135	1.93	<ul style="list-style-type: none"> ・男女枠なし ・35人学級、2クラス編成の定員

(参考) 過去の志願者数

令和3年度			令和2年度			平成31年度		
定員	志願者数	志願倍率	定員	志願者数	志願倍率	定員	志願者数	志願倍率
70	113	1.61	70	119	1.70	80	160	2.00

議案第 23 号

岩手県立博物館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて
次のとおり岩手県立博物館協議会委員の任命をすることについて、議決を求める。

任命（令和 3 年 12 月 23 日付）

職 名 等	氏 名
盛岡大学短期大学部助教	丸 山 ちはや

令和 3 年 12 月 20 日提出

岩手県教育委員会教育長 佐 藤 博

理由

岩手県立博物館協議会委員の任命をしようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

岩手県立博物館協議会委員（案）

委員任期：令和3年6月23日～令和5年6月22日
 公募委員：令和3年12月23日～令和5年12月22日

No.	分野	推薦団体	現委員				※年齢は令和3年6月23日改選時				新委員（案）			
			職名等（就任時）	氏名	年齢	性別	居住地	初任命	職名等	氏名	年齢	性別	居住地	備考
1	学校教育関係者	岩手県小学校長会	盛岡市立緑が丘小学校校長	あべ 眞一	59	男	盛岡市	R3.1.1 (2期)						
2		岩手県中学校長会	盛岡市立黒石野中学校校長	おのてつ 小野寺 哲 勇	56	男	滝沢市	R3.6.23 (1期)						
3		岩手県高等学校長協会	県立盛岡第四高等学校校長	うえ 柁 剛	58	男	盛岡市	R3.6.23 (1期)						
4	社会教育・家庭教育関係者	岩手県青年団体協議会	会長	まつ 田 恵美子	34	女	陸前高田市	H27.6.23 (4期)						
5		特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会	副会長	たい 坊 子	78	女	岩手町	R1.6.23 (2期)						
6		一般社団法人岩手県PTA連合会	副会長	しまわら 下川原 弘 勝	50	男	久慈市	R3.6.23 (1期)						
7	団体推薦等	岩手県博物館等連絡協議会	もりお 歴史文化館学芸員	くま 福 智	35	女	盛岡市	R3.6.23 (1期)						
8		岩手県市町村教育委員会協議会	八幡平市教育委員会教育長	しほ 星 俊 也	66	男	盛岡市	H30.9.1 (3期)						
9		岩手県立博物館友の会	会員	ほそ 越 千絵子	52	女	盛岡市	H29.6.23 (3期)						
10	学識経験者	株式会社岩手日報社	編集局文化部専任部長兼編集委員	くろ 田 大 介	48	男	盛岡市	R3.6.23 (1期)						
11		岩手医科大学教養教育センターター教授	岩手医科大学教養教育センター教授	まつ 松 政 正 俊	60	男	盛岡市	H29.6.23 (3期)						
12		個人	啄木研究家（元石川啄木記念館学芸員）	かみ 菅 の 野 文 夫	65	男	盛岡市	H27.6.23 (4期)						
13	公募	盛岡ふるさとガイドの会副会長兼事務局長	盛岡ふるさとガイドの会副会長兼事務局長	やま 山 本 玲 子	64	女	八幡平市	R1.6.23 (2期)						
14					いし 右 川 京 子	73	女	盛岡市	R3.6.23 (1期)					
15														

【審議会等の設置・運営に関する指針】

	(旧)R3.6.23現在	(新)R3.12.23現在
委員数	14人	15人
委員の男女比率（男性・女性）	57.1%：42.9%	53.3%：46.7%
若手委員（50歳未満）の登用率	21.4%	20.0%
委員の平均年齢	57.0歳	57.4歳
在任期間8年超	なし	なし